

B03 柿浦まちづくり協議会

代表者：川崎 純司

住 所：江田島市大柿町柿浦1964-7

TEL：0823-40-2501(江田島市社会福祉協議会)

① 担当社会福祉協議会

江田島市社会福祉協議会

住 所：江田島市能美町鹿川2060 能美福祉センター内

TEL：0823-40-2501

② 地域課題の解決のための事業の名称

暮らしたくなるまち、訪れたなるまち、働きたくなるまち、私たちのまち柿浦

③ 事業の総予算額(助成金申請額)

2,300,000円(2,300,000円)

④ 事業の目的

柿浦地区の人口は約1200人、高齢化率が51%。このたび地域内で唯一の食料品店が無くなり、少子化からも柿浦小学校が本年度末をもって廃校となります。街がさびれ続ける中、柿浦まちづくり協議会が立ち上がり、懸命に住み良い街づくり事業を展開しています。「みなとキッチン」の看板を掲げて、配達配食兼サロン事業を拡充していますが、まち協の会員はそれぞれの自家用車で地域を巡回しています。このテーマ募金では、柿浦地区を取り巻く多くの方々に協働意識を呼びかけ、資金使途としては、車両の購入並びにサロン機能の拡大、そして、事務機能の強化を中心にして活用させていただきます。

⑤ 事業の内容

自治会、女性会、老人クラブ、PTA、消防団、民生委員会、伝統保存会等、多くの地域団体により構成される柿浦まちづくり協議会の活動を通じて、「暮らしたくなるまち」、「訪れたくなるまち」、「働きたくなるまち」の3カテゴリーにより、住み良い柿浦の町づくり事業を展開していきます。

【暮らしたくなるまち】

- ①「みなとキッチン」機能の強化
- ②サロン事業の拡充
- ③災害対応事業
- ④EM菌普及事業
- ⑤見守りネットワーク事業

【訪れたくなるまち】

- ①伝統行事保存事業
- ②郷土料理伝承事業
- ③さくら公園環境整備事業
- ④おおがき「島ひき鬼」事業

【働きたくなるまち】

- ①多世代の交流拠点整備事業

⑥ 備考